

つながりましょう！

～みんなでみんなを育てる～

参観授業や学年集会にご参加いただき、ありがとうございました。これまで、子どもたちの様子を間近で見ていただく機会をあまり設けることができていませんでした。「名前は聞くけど、顔が分からないんですよね…」という声を聞いたたび、申し訳なく思っていました。

そこで、今回の参観・集会はつながることをテーマと掲げました！

2年1組の参観授業は体育科「なわとび」でした。縄跳び大会を終えても子どもたちは意欲的に縄跳びに取り組んでいます。大会から2週間と経っていませんでしたが、子どもたちは様々な技を習得していました。今回の参観授業では、縄跳び大会の演技を自分なりにアレンジして、頑張ってきた姿を保護者の方に見ていただきました。また、友だちのお家の方に縄跳びカードの記録をしていただくことができ、「〇〇くんのお母さんのサインをもらった！」などと喜ぶ声も聞こえました。



2年2組の参観授業は生活科「しんがへんしん」でした。長い期間をかけて集めたキッチンペーパーの芯を主な材料として、一人一人がオリジナルのおもちゃを作りました。遊び方や決まりごとも、一人一人が考えました。今回の参観授業では保護者の方々をお客さんとして招待し、しっかり遊んでいただきました。自分で遊ぶのは楽しいけど、誰かに遊んでもらうこともまた、子どもたちにとっての喜びになったようです。最後には保護者の方から遊んだ感想を伝えていただくことができ、大満足でした。



本来、学年集会の目的は保護者の方同士つながりや学校と保護者の方とのつながりを作ることです。しかし、交流を避けなければならなかったこれまでは、連絡やお願いばかりの学年集会となっていました。今回は「いまの状況なら交流もできる！」と担任団は意気込み、学年集会では保護者の方同士の交流ができる簡単なレクリエーションを行いました。人数が合うように手招きをしたり声をかけ合ったりされている姿を見ていると、今まで気付くことができなかった保護者のみなさまの温かな雰囲気を感じることができました。とても充実した時間になったと感じています。



年の瀬が迫ると、進級する子どもたちの姿を想像します。6年生として巣立っていくその日まで、学年集団は大きく変わりません。今の2年生72人を育てるのは、72人の子どもたちの保護者のみなさんです。もちろん、我々教員も加わります！「みんなでみんなを育てる」を合い言葉に、子どもたちの成長を支えましょう。今後ともよろしく願います。

